

日野市教育委員会 様

学校名 日野市立南平小学校

校長名 千葉 智弘

(公印省略)

## 令和7年度教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

## 記

## 1 教育目標

## (1) 学校の教育目標

- 自ら考え学ぶ子 (か)んがえる子 主体的に学び、課題に取り組む子ども「問題解決力」)
  - 健康でたくましい子 (つ)よい子 心身ともに健康で、考えを表現する子ども「自己肯定感」)
  - ◎ 思いやりのある子 (や)さしい子 自分への自信と人への優しさをもった子ども「共感力」)
  - めあてをもってやりぬく子 (く)じけない子 目標に向かって努力し続ける子ども「実践力」)
- 自分自身や周りの人を大切にする児童の育成を目指し「思いやりのある子」を重点目標とする。

## (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「第4次日野市学校教育基本構想」に基づいて、持続可能な社会の担い手として、これからの社会を主体的に生きていくための基盤を育む。そのために本校は「安心できる学校プロジェクト」に取り組み、以下のことを教育活動の重点とすることで、「すべての“いのち”がよるこびあふれる今と未来をつくっていく力」を育成し、学校教育目標の実現を図る。

## ア 「かんがえる子」

- ・問題解決型の授業、ユニバーサルデザインの視点に基づく授業改善を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることで、児童が「分かった」「できた」と実感できる授業を展開する。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成を図るために、各教科・領域の指導において、「指導と評価の一体化」を実現し、授業改善を図る。

## イ 「つよい子」

- ・生活規律を徹底しながら一人一人の個性の伸長を図り、社会的資質や行動力を高める。また、命の安全や人権に関わる指導を徹底し、いじめは絶対に許さない環境を整える。
- ・自らすすんで健康増進と体力向上に努める態度を育む。また、運動量を確保した体育授業の実施や、家庭と連携した基本的な生活習慣の確立、地域環境・人材を活用した食育の充実を進め、生涯にわたる健康づくりの基礎を培う。

## ウ 「やさしい子」

- ・道徳教育を充実させ、児童が対話し議論することで多様な価値観と出会い、自他を尊重し合う態度を育てる。また、規範意識や公共の精神を向上させ、様々な人と関わり合い、支え合ってより良く生きようとする心情と態度を育てる。
- ・自分も相手も大切な存在として、尊重し合う態度を育てる。異学年との交流等で、様々な人と関わる協働的な活動や体験を通して、豊かな心情を育てる。
- ・学習や生活の場面をはじめ学校生活の様々な場面で、相手を思いやる言動や行動を称賛し価値付けることで、思いやりの心を育み、自己肯定感や自己有用感を醸成する。

## エ 「くじけない子」

- ・校内研究で自己肯定感を高める授業改善に取り組み、自分に自信をもち、自己の課題解決に向けて最後まで粘り強く取り組む態度を育てる。
- ・ICTを活用した学習支援等、児童の実態に即した支援を行い不登校の未然防止を図る。幼稚園・保育園・中学校と連携した取組を促進し、学びの連続性を意識した教育活動を充実させる。